

FREE

ご自由にお持ちください。

No.798

2020 March

3

岐阜県の森林・林業

もり 森林のたより



News of the forest



令和元年度 岐阜県緑化運動
ポスターコンクール入賞作品が決定しました!

最優秀

小学校・低学年の部



大垣市立北小学校3年
やまかわ くるみ
山川 来望さん

小学校・高学年の部



郡上市立大中小学校5年
ごとう
後藤 ひなたさん

中学校の部



池田町立池田中学校2年
あべ みつな
阿部 光夏さん

高等学校の部



岐阜県立岐阜城北高等学校2年
きむら どものり
木村 友法さん

●詳しくは、17ページをご覧ください。

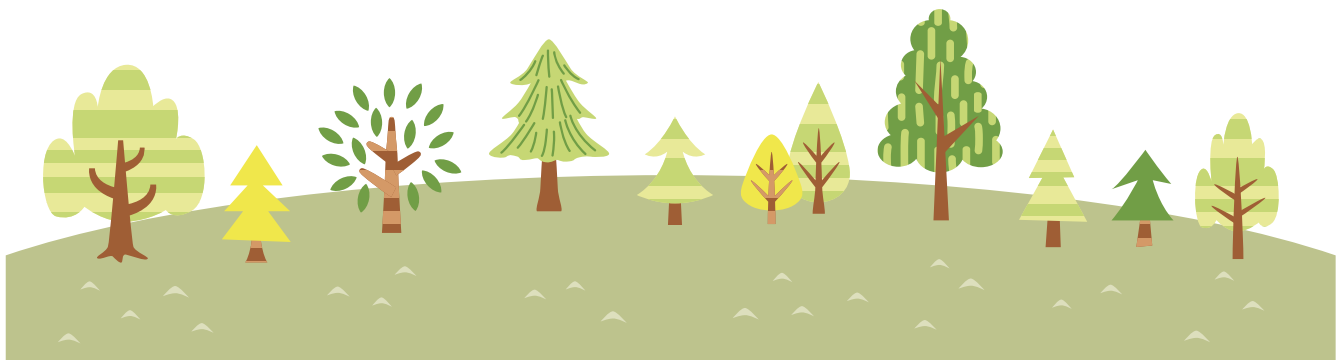


編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

http://www.g-forestry.or.jp (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
3月1日(日)~ 5月31日(日)	緑の募金(春期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに、家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。 4月4日(土)に岐阜市「道三まつり」の会場で街頭募金を行います。	街頭募金(岐阜市若宮町5丁目) 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL:058-273-7577
3月25日(水)~ 4月22日(水)	令和元年度 岐阜県緑化運動 ポスターコンクール 入賞作品展示	令和元年度岐阜県緑化運動ポスターコンクールにおける入賞作品52点を展示します。 ●入場:無料 ●時間:岐阜県図書館の開館時間	岐阜県図書館(岐阜市宇佐4-2-1) 恵みの森づくり推進課 058-272-1111(内線3034)



目次 Contents	イベントカレンダー(一般向け) 2 県産材輸出の推進 3 岐阜県みどりの少年団活動発表大会を開催しました。 3 山の歳時記(175) スギとヒノキの子葉 4 森林と人を活かす知恵(86) 「ニホンジカの森林被害を知る」 5 森の名手名人シリーズ(51) 苗木の親父 6 わがまちの森林・環境行政(39) 坂祝町の森林づくり 8 シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(11) 9 山のおしまひ(344) 9 ー感激しました、ムネビロイネゾウモドキー 10 木の香るぎふの施設(84) 10 岐阜県立郡上高等学校図書室 11 研究コーナー 11 キノコの生産量を高め、品質よく出荷し、 さらに機能性という付加価値をつけるために 12 地域の人・東濃地域の林業を支える若い力 13 普及コーナー 飛騨地域における普及活動 14 国有林の現場から(41) 14 岐阜森林管理署における無人航空機(ドローン)の活用 16 令和元年度岐阜県緑化運動 ポスターコンクール入賞作品が決定しました! 17 林業者向けお知らせ 17 市況 18
-------------	--



表紙●令和元年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール入賞作品が決定しました

県産材輸出の推進



県では、アジア圏を中心とした県産材製品の輸出を推進しているところですが、昨年の5月号(No.788)では、韓国と台湾での取組みについてご紹介しましたが、今回はその続報をお伝えします。

【台湾】

台北市内にある複合型インテリアショールーム「台北設計建材中心」(Taipei Design Materials Center, TDMC)に開設した県産材製品の常設展示場のイベントとして、昨年の十一月に商談会と体験イベントを開催しました。体験イベントでは、親和木材工業(株)のキットハウス組立てや、ヤマガタヤ産業(株)の塗り壁モックンを使ったアートパネルづくりを行ったところ、行列がでるほどの大盛況となりました。

十二月には、台湾で最大規模の建築建材展に日本木材輸出振興協会のジャパンパビリオンとして出展しました。これまで目標としていた総代理店を前月に獲得することが出来たため、県内事業者2社とその総代理店2社での出展となりました。

【中国】

これまで中国においては県産材製品のPRを行っていませんでしたが、台湾同様にジャパンパビリオンの一角を間借りし、十二月に広州で開催された建築建材展へ初出展しました。中国は

広大なため、地域ごとに求められる木材が異なるようですが、内装材としての木材需要があることが分かりました。また、中国はネット社会で、紙のリフレットや名刺交換は通用せず、国によって広報や商談の進め方が違うことを実感しました。

【県産材流通課 三輪哲司】



広州設計選材博覧会(中国)



キットハウス組立て体験(台湾)

岐阜県みどりの少年団活動発表大会

を開催しました。

令和2年1月18日(土)に岐阜かかみがはら航空宇宙博物館において、県及び公益社団法人岐阜県緑化推進委員会の主催による「令和元年度岐阜県みどりの少年団活動発表大会」を開催し、6団のみどりの少年団、約70人が参加して、日頃の森林づくり活動など、1年間の活動成果について、元気よく発表してくれました。

審査の結果、「東白川中学校緑化少年団」が最優秀賞に選ばれました。発表では、50年に及ぶ少年団活動や林業の盛んな地域を背景に、植栽から木を使うまでの一連の活動を体験し、とりわけ水源の森づくりに着目して、森林づくりの重要性を述べ、少年団活動を通じて自分たちが出来ることを明確に表現したこと、テレビ番組のような工夫した発表方法が高く評価されました。

みどりの少年団の皆さんには、森林や緑を愛し、守り、育てる心を大切に、地域の絆を深め、団員みんなの力を合わせて、これからも活動を楽しんでもらいたいと思います。

参加少年団及び審査結果

最優秀賞

東白川中学校緑化少年団(東白川村)

優秀賞

北方小学校みどりの少年団(揖斐川町)

上原小学校みどりの少年団(下呂市)

奨励賞

谷汲小学校みどりの少年団(揖斐川町)

海津市立城南中学校(海津市)

海津市みどりの少年団(海津市)



東白川中学校緑化少年団の発表



発表したみどりの少年団の皆さん(表彰式)

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎隆司】





文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

切り株に生えたヒノキとスギの芽生えを前に、種子植物はヒノキやスギなどの裸子植物と、ウメやサクラなどの被子植物に分けられ、被子植物は更に子葉が2枚の双子葉と、1枚の単子葉に分けられます。では、ヒノキやスギの子葉は何枚なのか分かりますか？と尋ねました。

子葉とえば、あの緑色のカイワレダイコンの双葉を思い浮かべる方もいることでしょう。

少し難しい話になりますが、被子植物の分類は子葉の数を基準としており、単子葉類は子葉が1枚、ニリンソウなどの一部の例外を除いて双子葉類の子葉は2枚が基本です。そして大半の子葉は対生しています。

これに対し裸子植物は子葉の数が様々で、ヒノキは2枚、スギは3枚、マツ類は6〜8枚で、特に3枚以上のものは多子葉植物とも呼ばれています。

ところで事例で尋ねたヒノキは、漢字で木偏に會「檜」と書きます。「會」は甌（こしき）に蓋をすることを指し、蓋があうので「あう」という意味だとされます。甌とは蒸し器のことで、加工しやすいヒノキで甌を作ったためかもしれません。

ヒノキの名は、擦れると発火しやすいため、日本では古くから火起こしにはヒノキが使われ、火の出やすさから「火の木」とした説。他にもヒノキは神社、仏閣に材と

して使われるくらい尊い木だから、最高のものを表す「日」に由来する「日の木」という説もあります。

またスギは、漢字で杉または枅と書きます。杉の「杉」はシ旁（さんづくり）と言ひ、飾りや模様をあらわす記号として、良く整ったという意味で用いられます。つまり「杉」は形の整った木、姿の良い木ということになります。また「シ」は細かいものが多数並んでいる様子を表すことから、「杉」は針葉が多数並んだ木を意味するという考え方もあります。もう一つの「枅」は「昌」が盛んという意味で、盛んに伸びる木を意味する日本独自の造語です。

スギの名は、江戸前期の本草学者、貝原益軒の『大和草本（1709年）』に、「スギは幹が真っ直ぐに上に伸びる木だから直木（すくき）」と説明され

ており、すくすく生える木、真っ直ぐ伸びる木、進木（すすき）が由来とされます。

最後に、冒頭の切り株に見られたヒノキの芽生え、それぞれの子葉の数を知らなくても漢字を見れば一目瞭然です。ヒノキの漢字は木偏に「會」なので2枚の子葉が木偏に「シ」なので2枚の子葉が3つ書くので子葉が3枚です。これは偶然なのでしょうか。



▲ヒノキとスギの芽生え：スギの子葉は3枚、ヒノキ子葉は2枚

緑豊かな日本の森林、しかし、その中には困ったことも起きています。その一つが、ニホンジカ(写真①)による森林被害です。

ニホンジカによる農業被害は、一般にも知られているところですが、近年のニホンジカの急増により、生息密度が高まったところでは、本来、彼らの住処である森林にまで被害が及んでいるのです。

代表的なものが、植林地における被害です(写真②)。本来なら生えそろうていないはずの木々が疎らになり、中には草地になってしまったところも見られます。



白昼の植林地に現れたニホンジカ 写真①



ニホンジカの食害を受けた植林地 遠景 写真②

近くに行くと、繰り返し枝葉を食害され、無残な姿になった苗木を見ることが出来ます(写真③)。何とか生き延びることができたとしても、今度は樹皮を摂食され、ひどいものは枯れてしまうこともあります。幼齢木から壮齢木まで長期に渡り被害を受けるのもニホンジカによる植林地の被害の特長です。



ニホンジカの食害を受けた植林地 近景 写真③

林内が見通せる気持ち良い林に見えてしまします(写真④)。しかし、注意深く観察すると、奥まで林内を見通せるのは、一定の高さ(シカの口が届く高さ)まで枝葉がないためであることや、林床の植生がほとんど消失していることに気付きます。



ニホンジカの食害が進行した天然林 写真④

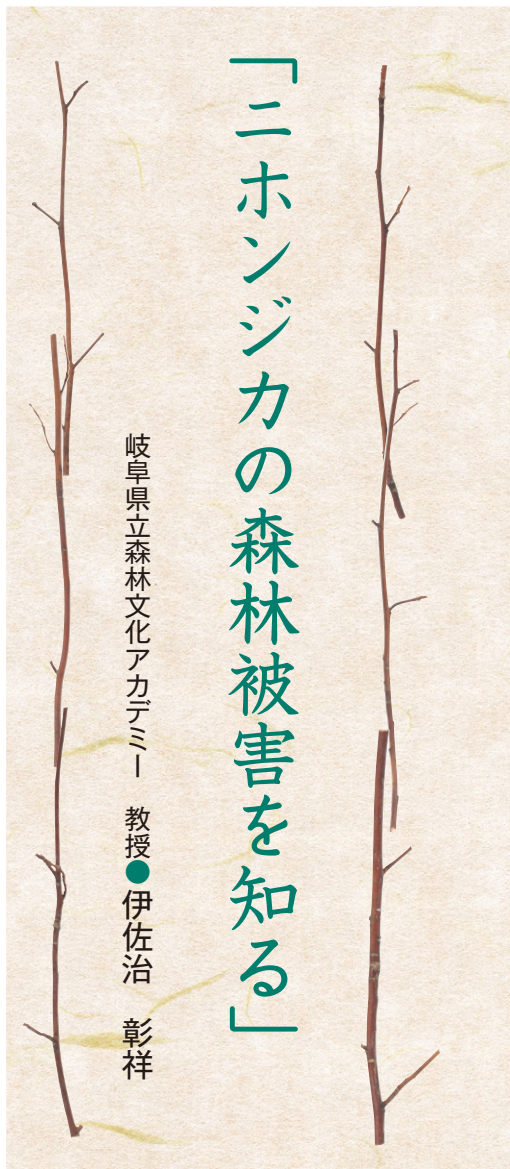
「獲ることで、守れる森林がある」
狩猟技術は、林業技術者の必須スキル
いかなるものでしょうか？

察してみてください。好きな樹種は、早々に食べられて衰退し、嫌いな樹種は、食べ残され群落を形成していきます。こうした視点で観察することで、植生の不自然さに気付くとともに、足跡やフンなどの痕跡も見つかり、思わぬところまでニホンジカの生息域が拡大していることに驚かされることでしょう。

現在、ニホンジカの森林被害対策は、防護ネット、ツリーシェルター、忌避剤等による守りの対策が主に行われています。しかし、広い森林を守りきることは容易なことではなく、そもそも、被害の現場で加害個体の数を減らさなければ問題の根本的な解決には繋がりません。今後は、守りの対策とともに、攻めの対策Ⅱ 捕獲対策を相層強化していく必要があると思います。

では、その担い手を確保することはできるのか？ 狩猟者の高齢化も進むなか、身近な農地周辺ならともかく、アクセスの悪い森林での担い手を確保することは、やはり容易なことではなさそうです。

ならば、森林での活動にアドバンテージを有する林業関係者自らが、中核的担い手となって捕獲対策を進めていくことはできないのでしょうか。
キャッチフレイズは、既に考えてあります。





名人
伊藤 勉 (85)
岐阜県各務原市

聞き手
渡邊 錬磨
岐阜県立岐阜農林高等学校2年
平成30年取材

林業(苗木づくり) 苗木の親父

1. 苗畑の管理

苗畑は、伊勢湾台風(昭和34年)に、初めてクロマツの種を取りました。37年に蒔き付けて、38年の秋から松の苗を出荷し始めて、その後ヒノキとスギを作り始めたんやわ。でも、最初は種が支給されなんだ。それから山の方の人に種とつもらって、うちで蒔いてやっただんな1年目は、2年目からは、県から種を買って受けてやっただ。買取価格は一番最初はマツは1本7円やっただかな。ヒノキは1本20円やっただと思っやわ。そのときからずっと56年間やっただね。そのときは全部が手作業。備中で耕して、そこに手で植えたんやわ。8年続けてな、やっと耕うん機、トラクターが入ってきたもんで、今の1m35cmの畝幅の畝をトラクターで作って、それに手植えして育てるっていう方法が変わって、40年ごろが出荷の最盛

2. 苗木の世話

1月15日くらいから2月10日までヒノキやスギの苗の選別。5cm、10cm、15cmくらいの三段階に分けておく。それは、大きい小さいで競争させないようにそろえて植える。出荷のときに、それらを束ねて出すように。そのときにまた小さい奴は、3月の中頃に新しいのを畑に植えるで、そのときに一緒に植える。

5月からは草取りだけやな。今は、スギは9月の末に根切り、ヒノキは10月になってから根切り、注文があるたびに出荷やな。

「森の名手名人」とは、森に関わる仕事や地域生活に染み込んだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の模範となっている達人で、毎年、全国で約100名が認定されています。岐阜県においては、現在、51名の「森の名手名人」が認定されています。

この「森の名手名人」を「森の聞き書き甲子園」に参加した高校生が「聞き書き取材」をしたものの中から誌面の関係上要点を抜粋したものです。なお年齢、住所、学年は取材当時のものです。

〈種蒔き〉
苗木を作るときは大変やっただことは、種蒔き。始めは冷やしたらあかんで、藁を敷いとつたんやわ。その藁をめぐくって、ついとる葉っぱを取るのが一番めんどくさかったな。でも、県は作れ作れっていうやろ。そこでいろんなやり方を試してみよ

うと思っただ。今度は、草簀(くさず)を切って50cmくらいの幅にして、上に載せたんやわ。次に、45年くらいから、南京袋を被せよつた。始めは2枚被せて、10日くらいしてから1枚とって、そこからまた10日くらいしたら、もう1枚も取って、寒(れい)冷紗(れい)っていうビニールの繊維がいっぱい引つけてある、雨と風だけ通す目の粗い紙みたいなものを、夏中は黒の寒冷紗掛けて、水が張るようになるとポフポフのやつを掛けるようにしたら、うまくいってきたんやわ。その方法が確立してから県から頼まれてヒノキやっただ、スギやっただ、それから、ヤシヤブシ、ハンノキ、それをずーっとやってきたわ。どの木も最初は苦労したもんやわ。苗にも連作障害があるもんで、畑を変えて作っただいかなあかんかった。ヒノキの場合は連作障害が起きると根が太くなつちやっただ、山の人が植え難(がた)いっていうもんで、毎年場所を変えて育てるわ。肥料は、植える前に全面にふるって、トラクターで起こしてから植えるんやな。そうするとずつと土の中に肥料があるもんで、根が伸びれば伸びるほど新しい肥料のところに行くもんで、綺麗に真下の柔らかい土のところに根を張るんだわ。



名人のスギ畑



ヒノキ畑

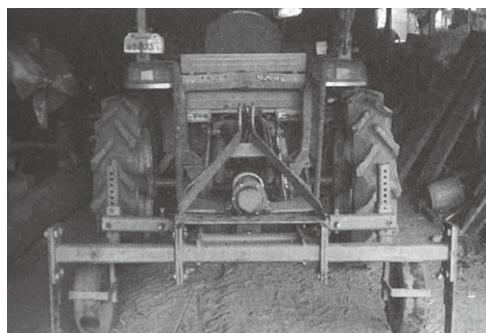
〈草取り・選別・自然との戦い〉

昔から見たら草引きが二番楽になったな。昔は草引きなんて全部人力やったもんで。草掻きと備中と鍬があっただけやで。とにかく大変やった。根切り虫にやられたときも大変やったな。原因がわからへんまま2、3年続いたでな。その間は何にもできんかったで。片っ端から薬をふりかけていったわ。それでやっとスタートラインやで、そこから、いい苗作ろうと思ったら、一年生からいい奴ばっかり世話せんとあかんわ。そこからさらにいい奴だけ選り好みしていかなかん。一番最初から全部いい苗にするのは難しい。だいたい2割くらいは捨ててまうことになるけど、それくらいせんとお客さんは喜んでくれん。あと、根つくと葉が、虫に食われて納品しきれんかったことがあつてな。あのときは山にも畑にも苗がないうつて大騒ぎやったわ。ちょうどあのときに自然には絶対に敵わんなあつて思った。天気だけやなくて、虫とか、病気なんかでもそうやと思う。

〈根切り〉

自分のこだわりで、枝振りが良くて丈の短い奴だけ出すことだけはずっと続けてきた。35cmの苗は、幹の太さが7mm、45cmは9mm、60cmのが12mmがベスト。団扇みたいな形の苗作るのが理想やわ。枝の付き方が綺麗なのが特にええわ。そういう苗だけ選り好みして山の人に出すことだけは貫いてきたんや。

そのために、自己流の苗の管理方法を編み出したんよな。二つ目は、寒冷紗は一年生から二年生になるときに掛けとかなあかん。掛けずに過ぎて、植えかえると新芽が3本か4本くらい出てまう。そうするとまっすぐに伸びてかんようになつてしまつてもんで、寒冷紗を丁寧に掛けたあかん。二つ目に、苗の大きさは35cm、45cm、60cmの規格があつて、根切りで成長を止めて、規格



根切りに使う機械

どおりの大きさにするんやけど、その前後1週間の天候やら気温によるもんで、そこを天気予報見て、的確に判断しなあかんのよ。そこで、切った後1週間は暗れる日を狙って根切りをしてやる。

3. 日本の代表として 異国に立つ

タイ植林ツアー(岐阜県の森建設)ついでのがあつて、1993年からそれに技術者として呼ばれた。タイの土はかちかちの赤土で、畑もロータリーが使えなんだ。山肌全面鋤で鋤いて土を細かくしてスキの木を植えたんや。あつちは乾季と雨季があるで、半年間絶対に雨降らんやつて言われて、日本と気候が違つてたいぶ考えたわ。あつちはチークしか育ててなかつたから、日本のスキが育つかどうかもわからなくて心配やった。まあ1年でこんなに大きくなつたんやけどな。結局、全部で6年かかった。最初が大変やつたでな、あつちの山間民族が生活に必要やつていて木を全部切つてしまつてな。はげ山やつたん

やわ。そこからやで根付くかもわからんかったもんで、1年待つてみて、根付きはいいし、よけ育つということがわかつたで、岐阜県の森を再現してつたんやな。

4. 今の畑

今作つてる苗はマツとスキとヒノキ。スキの中でも、日本のと中国から入つてきた奴と2つあるから4種類だ。日本のヒノキはコンテナ苗と普通の畑に植えてる苗とあつて、最近はコンテナ苗の方が人気だわ。中国から入つてきた奴は、ここらでは、うちが初めて蒔いて、今年で2年目やわ。今、苗木に使つてる畑はマツは10aくらいやね。日本で中国のスキが30aくらいで、日本のスキが20a。ヒノキは1〜1.5haくらい作つてたと思う。最盛期はヒノキだけで1年間でたいたい35〜40万本くらい出荷してたわ。もう今は、苗木は全部で2haくらいかな。外国から安い材木が入つてきてまつたで植えても売れへんやつて、皆買わなくなつていったわ。

5. 苗木作りを日本から 消滅させないために

苗木やめてないのには理由があつて、今は付き合い長かつた森林組合が、少しずつでも植えとるで、そこから仕事がある。揖斐、根尾、郡上、飛騨、恵那と5つあるけど、みんな少量発注やな。多くても5千本、皆普通は3千本やな。若い人にもやつてもらおうと思つて、苗作つても売れんでいかんわ。日本では需要が減つてきてまつた。国も日本の森をもっと手厚く守らなかな。最近跡継ぎがいなくていうところが多いけど、うちは息子が継いでくれとるよ。3年くらいよそで修業させてからやけどな。

これからは、みんなでの畑をどこまで守つていけるかが問題やな。欲をいうとすれば、国にもう一度動いてもらつて、人数増やさんでもいいで、今の人たちを守つてほしいつちゆうことやな。昔は同業者もいっぱいおつたでな。最盛期で、県内だけで3000人はおつたけど、今では7、8人しかおらんわ。需要と供給が成り立たなくなつて、激しい時代の移り変わりで淘汰されてきたんだわ。でも、忘れてしまつたらあかん、この技術を岐阜県に残していくことが目先の目標やな。

名人 伊藤 勉さんのプロフィール

●生年月日…昭和8年7月30日生まれ
●職業…苗木生産、野菜生産

昭和37年から山林種苗生産に取り組み、増大する拡大造林を背景に、ヒノキを中心に年間60万本以上まで拡大したが、植栽面積の減少により、生産規模の縮小を余儀なくされる中、山林種苗生産を継続し、近年では、新たにコンテナ苗生産にも取り組み、岐阜県の森林づくりに大いに貢献している。

昭和52年から各務原山林種苗組合長を務め、組合員の指導とともに、息子へ山林種苗生産を引継ぎつつ、技術承継に努めている。

森の名手・名人シリーズ最終回にあたって

平成19年12月号に第1回を掲載して以来、不定期に連載して参りましたが、第51回をもって、ひとまず終了いたします。長い間、ご愛読いただきありがとうございます。

なお、今まで掲載してきました分を当委員会ホームページに掲載しております。森の名手・名人の皆様のご功績やお人柄を思い浮かべていただければ幸いです。

※原本は長文のため、文章の一部を割愛しています。

【森の名手・名人編集担当

公益社団法人
岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎隆司

坂祝町の森林づくり



森林の概要



マスコットキャラクター
ほぎもん

坂祝町は、岐阜県の中南部に位置し、可茂地域の中核都市である美濃加茂市、可児市をはじめ、関市、各務原市、愛知県犬山市に囲まれた総面積12・87km²の町です。町内の森林面積は461haで全体の36%ですが、そのうち天然林の面積が365haと79%を占めており、林業・木材生産に適した森林が少ないのが現状です。

また、町の南西部には、飛騨木曾川国定公園の特別地域に指定された山林が広がっており、急峻な地形であることから木材生産林としてはなく、環境保全林及び環境景観林として保持に努めてきましたが、所有者の高齢化や相続による町外所有者の増加等の理由により、手入れが行き届かない山林が増加しています。

地域協働による取り組み

1997年には、坂祝誕生100周年を記念して、標高265mの城山山頂ま

での猿啄(さるばみ)登山道と展望台を整備しました。展望台からは眼下に広がる日本ライン(木曾川)の美しい流れや、恵那山、中央アルプス、御嶽山、白山などの山々、遠くは伊勢湾や名古屋ツインタワーを望むことができます。



猿啄城展望台

猿啄(さるばみ)登山道と展望台は整備から20年以上が経過していますが、その間、地元住民による団体「勝栄会」が中心となり、毎年元旦に初日の出を拝むための登頂イベントの企画運営や、日頃から登山道の補修や清掃活動などを行っています。今では町内外から多くの登山者が訪れるほどです。また、「迫間川のホタルを守る会」では河川環境を守るための清掃活動やホタルの餌となるカワニナを養殖し

放流するなどの保全活動を自主的にを行っています。

このように坂祝町は住民の自主的な活動や協働による地域資源の利活用が盛んな土地柄であることが特徴です。

普及啓発活動

緑化推進活動による「緑の募金」の寄付金を活用し、町内自治会などの団体に対して地域の公民館や集会所、公園等の植樹のための苗木や間伐材で製作した木材ベンチの配布を行い、森林環境や木材利用に関する普及啓発を行っています。

また、ぎふの木育教材導入支援事業を活用して町立幼稚園や放課後児童クラブ施設に木製のおもちゃの配備を行っています。今年度は、町総合福祉会館の指定管理者である坂祝町社会福祉協議会がキッズスペースに「ぎふ木育ひろば」を設置するなど、幼い時期から木製学習教材や木のおもちゃに触れる機会を設け、普及啓発に取り組んでいます。



ぎふ木育広場



つみばぼで遊ぶ園児

自然環境を活かしたまちづくり

坂祝町のまちづくりを推進するうえで欠かせないのが自然環境を利活用した事業展開です。南部を流れる木曾川とそれに並行する中山道。そして猿啄(さるばみ)登山道に代表される山林資源。これらをミックスして考え、住民協働の事業展開を図っていきたいと思います。

具体的な事業計画としては、来年度以降も清流の国ぎふ森林・環境基金事業や森林環境譲与税を活用し、中山道を補完する遊歩道を計画しています。

今後とも自然環境を適切に管理・保全し、地域住民と協働で山林や河川を活かした産業振興と観光振興を推進し、人々が「暮らしたい・訪れたい・魅力あふれる」まちづくりを進めます。



登山道整備活動

【坂祝町役場 産業建設課 岩井正義】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0574-6612408

坂祝町役場産業建設課まで

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

11

平成24年度より県民みんなで豊かな自然環境を守る仕組みとして導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」は、平成33年度末まで5年間延長されました。税活用事業の内容も見直しをしましたので、新しい内容の事業を含め連載で紹介いたします。

観光景観林整備事業

～観光道路沿いの景観向上のための森林整備を行う事業です～

【事業実績】

観光道路から望め、景観としての価値が高く、観光客を呼び込み地域の活性化につながる森林を観光景観林として、森林の公益的機能の向上も図るための整備に対して支援をしています。

【平成30年度の事業実績一覧】

市町村	整備箇所	不用木の除去(ha)	不用木の除去 (含む伐採木の処理)(ha)	伐採木の搬出(m ³)	整備面積(ha)	事業費(円)	森林・環境税(円)
本巣市	本巣市根尾	5.30			5.30	1,137,240	1,000,000
海津市	海津市南濃町羽沢	14.20			14.20	2,624,400	2,624,400
養老町	養老町養老公園					2,862,000	2,862,000
郡上市	郡上市八幡町初納	6.50			6.50	2,808,000	2,771,856
白川町	白川町河岐	28.86			28.86	5,832,000	5,832,000
瑞浪市	瑞浪市大湫町	5.05		95.00	5.05	2,918,160	2,905,200
中津川市	中津川市阿木、付知町他	23.13	3.17		26.30	6,923,000	5,800,000
恵那市	恵那市山岡町	5.24		47.53	5.24	2,841,000	1,300,000
高山市	高山市清見町櫛谷、大原	39.93	25.28		65.21	18,743,400	18,743,400
白川村	白川村飯島、荻町	38.37			38.37	7,344,000	7,344,000
計					195.03	54,033,200	51,182,856

※養老町は翌年度に向けた計画策定を実施。白川村は平成29年度からの繰越分

整備前



郡上市八幡町

整備後



高山市清見



【恵みの森づくり推進課 米本】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111内線(3026) 恵みの森づくり推進課 まで



山のおじまむし



—感激しました、ムネビロイネゾウモドキ—【第344回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

早いもので、ゾウムシの世界的権威者であるM博士（以下、先生）が、天国へ旅立たれてから5ヶ月が経過した。今は別世界の環境にも慣れ、やり残した研究に追われているであろう。そんな姿を想像していると、先生との思い出が次々と目に浮かんでくる。まず、思い出すのが、初めて先生にお会いした時のこと。昭和40年だから、もう55年も前のことだ。当時私は岐阜県林業試験場職員。と言っても高卒4年目の新米研究員だ。研究の補助員なので責任はない。虫採りに明け暮れていた。ある日上司から出張命令がでた。行き先は国の林業試験場。ここでM研究員からシロアリの話を聞いてこいと言う命令。突然だったので驚いたが、それ以上に不安だった。東京へは行ったことが無かったからである。その時上司は、「シロアリは出張の名目で、どうでもよい。M氏は、ゾウムシの専門家だ。だから君が採集したゾウムシを同定してもらえば、勉強になるだろうと、私が勝手に判断し計画した。先生には私から頼んでおく」と言われた。上司と先生は前から親しかったらしい。この時、初めて先生がゾウムシの第一人者であることを知った。

× × × ×

初めて乗る新幹線と初めての東京。不安をいだいて出かけた。先生にお会いした。先生はゾウムシを1匹ずつ顕微鏡で見て、タイプライターでそのゾウムシの名前を学名で打っていかれた。そして、私ができるようにとローマ字で和名を打たれた。その心遣いに感謝した。ゾウムシを顕微鏡で調べて、それをタイプライターで打つ。その繰り返しに実に速い。神業のようであった。同定が終わった後、これらゾウムシについて説明して頂いた。おだやかな口調で丁寧に話された。よく理解出来た。特に、当時はゾウムシのことをあまり知らなかったので大変勉強になった。この中で忘れられないのがフトアナアキゾウムシである。先生は「これは日本で4頭しか採れていない大変珍しいゾウムシです。私も持っていないので研究に使わせてください」と言われた。胸が熱くなった。嬉しかった。この一言で、ゾウムシ狂いの悪病？が私に感染した。その日の夜、先生と夜の東京見物をした。ビールを飲みながら食事をして街を散策し、最後に日劇ミュージックホールへ行き、美女の踊りを見た。素晴らしかった。スマートな足を交互に上げ下げして踊る何人もの美女。その迫力、美しさは今でも覚えている。先生は私を宿まで送った後、帰って行かれた。ゾウムシの同定だけでなく、夜の東京まで案内していただき、夢のような1日であった。翌日先生に前夜のお礼を言った。その時先生は、「これは君の上司から電話があり、岐阜の田舎者が行くので、夜まで面倒をみてほしいと連絡があったからだ」

と笑顔で話された。今思えばこの上司の心遣いが、私のゾウムシ狂い、いやゾウムシ人生のスタート地点であったと思う。

× × × ×

次が新種のゾウムシを発見したときだ。5mmに満たない小さなゾウムシで、名前がわからなかったので先生に見ていただいた。先生は「これは新種です。そのうちに貴方の名前をつけて発表しましょう」と言われた。これが新種なのかと、小さな虫が巨大な怪物に見えた。このゾウムシはシラベ、アオモリトドマツなどの亜高山樹木の枝葉から6頭採集した。このうち4頭は先生の研究用にお譲りした。その後、このゾウムシは「ノヒラツツキイゾウムシ」と名前がつけられた。これも嬉しかった。感激した。夢でないかと思った。ところが、このゾウムシを採集した森林が、数年後に山火事で大半が焼失してしまった。もう採ることが出来ないだろう。と思いながらそこへ何回も出かけた。しかし、未だ採れない。もっと探っておけばよかったと、悔やまれてならない。この2頭のゾウムシは50年経ったいまも、標本箱の中で光り輝いている。

× × × ×

「野平さん、ついに採ることが出来ました。感激しました。」この言葉も忘れることが出来ない。白川村大白川で採集している時、先生が私に言われた言葉である。手にしているのはムネビロイネゾウモドキであった。「あれ!」と思い、「そのゾウムシは前に先生のところへたくさん送ったはずですが」。すると先生は「例えたくさん持っけていても、珍しいものは自分で採りたい。採ったときの気分は何とも言えないからね」と言われた。意外だった。先生も私と同じで、珍しいものを採ったときは感激するのかと驚いた。「採った!」と心の中で叫ぶ先生の姿を想像していたら、今まで「別世界の人」と思っていた先生が、急に「身近な人」となり、虫以外のことで雑談するようになった。この他にも先生との思い出はたくさんある。私の宝物だ。これからはこれらの宝物を胸に秘め、私のゾウムシ人生を楽しみたいと思っている。先生、天国から見ていてください。時々「採った!」と叫び、先生を羨ましい気持ちにさせるかも知れませんがとうございました。さようなら。



▲ムネビロイネゾウモドキのオス



岐阜県立郡上高等学校図書室

郡上市八幡町小野970



施設全景

施設概要

事業年度	平成30年度
事業主体	岐阜県
延床面積	148㎡（木質化部分）
施設用途	学校施設
木材使用量 使用樹種	6.76㎡ ヒノキ（県産材100%）
全体事業費	11,918千円（県有施設木質化等推進事業）
設計者	株式会社エコプラン
施工業者	株式会社三島建築
工期	平成30年12月4日～平成31年3月22日



施設の経緯

本校の図書室は、生徒の往来が多く、利用しやすい場所がありますが、廊下から見た室内は薄暗く、また、書架のほとんどがスチール製のため、重苦しい印象を与えていました。

今回の改修で、カウンター、床、柱及び壁の木質化を行うとともに、木製の閲覧机や書棚等を導入したことにより、明るく温かみのある図書室に生まれ変わりました。



ここに注目!!

木質化した柱の表面に数カ所の展示コーナーを取り付け、木の温かな色味を活かした「魅せる収納」が実現しました。

さらに、カウンター周囲の木質化と併せ、入口に木製展示棚を新設したことにより、外からも室内の明るさが伝わるようになりました。

利用者の様子

改修後1年近くたった今も、生徒たちから「良い香り!」、「ここに入ると気持ちいい!」という声が聞こえます。また、教員からは、ヒノキがふんだんに使われた明るく温かみのある空間に驚嘆の声が上がっています。

■問い合わせ先
岐阜県立郡上高等学校
TEL 0575-65-3178

キノコの生産量を高め、品質よく出荷し、さらに機能性という付加価値をつけるために

森林研究所 ● 上辻 久敏

はじめに

岐阜県森林研究所はキノコの生産額を少しでも増加させるために、増収技術、品質保持技術および機能性をキーワードとする新しい技術で、県内キノコ生産業の発展を多角的にサポートすることを目的に技術開発を進めています。

今回は、その中の品質を保持する技術について紹介します。

キノコの品質を保持する技術

生シイタケが出荷後に変色する事例が、全国の産地で問題となっています。変色しやすいのはシイタケの特徴でもあり、その原因は水分過多と考えられ、水分管理が重要視されてきました。

水分も変色の重要な因子なのですが、水分以外の因子についても研究を進めたところ、シイタケの変色に

は、酸化という反応が関係していると考えられました。ただの酸化ではなく、シイタケ自身が持つ酸化を促進する酵素が反応を進めていると考えられました。

品質保持試験を進める中で、シイタケの呼吸が活発であることが分かりました。そこで、酸素透過性の低い袋でシイタケを密封し、シイタケの活発な呼吸を利用して袋内の酸素を消費させ、酸素濃度が低い状態を作り出すことに成功しました。この酸素濃度を低下させる密封処理を行って保存することで、シイタケの変色を抑制することができました（写真）。

試験当初は、袋内の酸素濃度が低くなることで酵素の反応に必要な酸素の不足につながり、結果としてシイタケの酸化酵素の働きが阻害されて変色が抑制されると考えていました。

このメカニズムを解明するため、



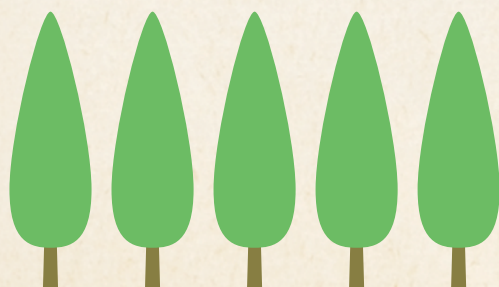
写真 密封処理による変色抑制の様子

シイタケの酸化酵素の活性（働きの量）を高感度で測定する条件を用いて、密封処理を行ったシイタケと無処理で変色が進化するシイタケの酸化酵素活性の変動を比較することができました。

その結果、シイタケに含まれる酸化酵素の活性は収穫後一定ではなく、変色が進行するにつれてシイタケの酸化酵素の活性が高まることが分かりました。一方、密封処理によ

り変色が抑制されたシイタケでは、酸化酵素の活性が収穫時のシイタケよりも低下していました。この結果から、密封処理でシイタケ自身が酸化しにくい状態に変化したものと考えられます。

本研究により、密封処理を行うことでシイタケの酸化酵素の活性が弱まることが初めて明らかになり、これが変色を抑制するメカニズムのカギになると考えられます。



● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-133-2585

森林研究所まで



石河 潤さん

『東濃地域の林業を支える若い力』

陶都森林組合

石河 潤さん

東濃地域の第1線で活躍している若手職員を紹介します。

今回は、陶都森林組合職員の石河 潤（いしこ じゅん）さん（36歳）です。

石河さんは、美濃加茂市の出身で、北陸の大学で環境学を学び、卒業後は八ヶ岳の山小屋で一年働いた後、旅行広告代理店で勤務されました。

25歳の時に、林野庁が主催する東京でのガイダンスに参加したことで、静岡県天竜地域の森林組合へ森林技術者として就職され、植栽、下刈り、間伐等の丁寧な山の作り方を学ばれ、架線集材技術も習得されました。



伐採作業

また、27歳から、天竜地域の山や木に関する仕事をしている若手のグループに在籍し、浜松市を中心とした小中学生に森の働き等について、高校生には将来の森の担い手として就職してもらえるよう林業について教えていました。

平成29年4月に陶都森林組合の職員として採用され、今年度は施業プランナー育成研修に参加し、積極的に森林管理技術を学ばれています。



小学生への講義

Q 陶都森林組合の概要を教えてください

陶都森林組合は瑞浪市に事務所を構え、現在は組合長他3名の職員と5名の常勤森林技術者を雇用しています。多治見市、瑞浪市、土岐市の森林を管理し、主力事業は利用間伐です。近年では毎年5ha程度の皆伐再造林を行い、資源の循環利用、林齢構成の平準化に努めています。

また、東濃地域の林業関係者からなる「陶都林材クラブ」の一員として、各市農業祭への参加や、地域からの要請により林業技術指導を行っています。

Q 石河さんが陶都森林組合を選んだ理由を教えてください

実家から近い場所で林業が出来る職場を探していたこと、山作りをしたいという思いがあったことから職員を希望し、また、陶都森林組合の管轄地の魅力やおもしろさから就職する事を決めました。

Q 実際に仕事に携わった感想を教えてください

天竜地域では、山と町の距離が離れてい

ましたが、東濃地域は両者の距離が近い事が気に入りました。事務仕事は初めてだったので、経営の難しさ、森林技術者への指示の難しさを感じています。

陶都森林組合に就職してから岐阜県森林公社「森のジョブステーション ぎふ」の開催するガイダンスに参加し、東京で2回実体験の話をしました。令和2年1月12日にも名古屋でトークセッションのパネラーとして登壇しました。多くの人に林業に興味を持ってもらえることを願っています。

Q これからの目標・希望を教えてください

天竜地域は昔からの林業地で、施業体系が出来上がっていますが、東濃地域の林業は、若い山が多く、これからでも自分で考えた山づくりが可能だと思っています。

木材生産と生物多様性の共存する森林づくりを目指したいと考えています。また、陶都森林組合として、市民が森林に触れる事が出来るイベントや、小中学生を対象とした森林教室を開催したいと考えています。

● お話を伺って

施業プランナー育成研修では、今までの実務経験を思い出し理解しながら積極的に学ばれており、現在瑞浪市の森林経営計画を策定する準備をされています。研修終了後は、東濃地域の森林整備推進の牽引者の一人として、地域林業の発展のため活躍されることを期待します。

【東濃農林事務所
林業普及指導員 藤井 敦】

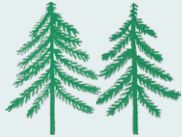
● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0572-123-1111

東濃農林事務所まで



飛騨地域における普及活動



■飛騨農林事務所 林業普及指導員 田中 伸治

飛騨農林事務所の管内は、高山市、飛騨市及び白川村の2市1村からなる地域です。森林面積は30万9千ヘクタールで、62%に当たる19万1千ヘクタールが民有林です。

民有林の人工林は6万3千ヘクタール。保育作業を必要とする9歳級以下の面積が39%を占め、利用間伐の対象となる9〜12歳級の面積は58%に達しています。

森林整備の担い手として、管内には2つの森林組合と30の林業事業体があり、216名の森林技術者が従事しています。

今回は、森林技術者を対象に取り組んだ普及活動について報告します。

作業道開設研修

作業道は森林整備や木材生産を行う上で必要であり、管内では毎年、約30キロメートルの作業道が開設されています。

一方、集中豪雨などによる自然災害が増加する中、環境に配慮した、作業効率が高く、壊れにくい道づくりが求められています。

そこで、災害に強い道づくりを再認識していただくため「作業道開設研修」を開催しました。

県森林研究所の白田専門研究員から「災害リスクに配慮した木材生産」と題し、保全対象との距離、山地のリスク判断、崩壊危険地形の把握、現地指標の確認について説明がありました。

続いて、筆者が「岩判定参考手法」として、既設作業道から持ち帰った岩のサンプルで、簡易岩判定シートを用いて、岩判定のデモンストレーションを行ったほか、当事務所の和仁林業普及指導員が、災害発生状況写真を示しながら、作業道開設のポイントを説明しました。

【作業道開設のポイント】

- ・盛土の立木掛け、ボサ（枝葉等）掛けはやらない。
- ・豪雨災害に備え、住家等の保全対象との距離を十分確保する。
- ・傾斜区分図とCS立体図を利用して危険地形を把握する。
- ・排水による崩壊を発生させないため分散排水、適地排水、排水施設の維持管理を心がける。

「危険な箇所には作業道を開設しない」ことを参加者に再認識してもらえたと思います。



▲作業道開設研修

伐木作業等における安全対策研修

当管内では、平成30年度に、伐木作業中の重大事故が2件発生しました。また、令和元年8月に労働安全衛生規則等の一部が改正され、伐木作業等における安全対策が強化されました。

そこで、伐木作業等における安全対策を再認識していただくため「伐木作業等における安全対策研修」を開催しました。

伐採のスペシャリストであるくさかべ林業（郡上市）の目下部修氏を講師にお迎えし、また、森林文化アカデミーの長屋氏、上平氏の両林業普及指導員にも協力してい

いただきました。

座学では、当事務所指導員が、林業労働災害の現状、伐木作業中の災害事例、安全装備の着用、緊急連絡体制の整備の説明を行い、長屋指導員からは、労働安全衛生規則等の改正点の解説がありました。

また、日下部氏から、チェーンソーの分解・組立の実演を交えた点検・手入れのポイントを学んだ後、自らのチェーンソーを用いた目立て実習を行いました。

現地研修では、伐木、造材、かかり木処理の実習を行ったほか、講師の実演のもと、重心が谷側にある立木を山側に安全に伐倒する技術を学んでいただきました。

この研修では、説明を聞くだけ



▲伐木作業等における安全対策研修

でなく体験してもらうことで、伐木作業時の安全対策を再認識してもらえたいと思います。

主伐・再造林 (低コスト施業)研修

当管内では、民有林の人工林のうち10歳級以上の面積が61%を占める一方、5歳級以下の面積が4%しかなく、主伐・再造林の推進により年齢の平準化を図る必要がありますが、再造林にかかる経費がネックとなり進んでいないのが現状です。

そこで、主伐・再造林の低コスト化に向けた取り組みについて研修会を開催しました。

座学では、県森林研究所の渡邊専門研究員から「主伐・再造林の低コスト化に向けた技術」と題し、低密度植栽、適地適木、下刈り省略、獣害対策、コンテナ苗の活用について説明がありました。

続いて、飛騨森林管理署の小枝森林技術指導官からは「国有林における主伐・再造林の取組について」と題し、具体的な直接経費にふれながら省力化・低コスト化への取組事例を紹介していただきました。

現地研修では、当事務所指導員

が、スギのコンテナ苗、コンテナ苗植付用器具(ディブル、スPEED、唐鍬)、獣害対策資材(チューベックスなど)の説明を行い、参加者にコンテナ苗の植栽や獣害対策資材の設置の体験してもらいました。

また、チューベックスで獣害対策を行った植栽現場を見て回り、植栽木の生育状況を確認しました。

この研修内容を参考として、低コスト化への理解が進み、主伐・再造林の推進につながっていくことを願っています。



▲主伐・再造林(低コスト施業)研修



【各研修における参加者からの声】

- ・作業道を計画する時の注意点がよく分かった。
- ・伐木作業の基本を思い出すことができた。
- ・目立ての重要性が分かった。
- ・安全装備の着用が事故防止につながる事が分かった。
- ・ディブルやスPEEDを使うと、コンテナ苗を早く植えることができると感じた。

終わりに

当管内では、森林組合や林業事業体を中心に多くの方々が森林整備で活躍されています。

すべての林業従事者が一体となり、安全に主伐・再造林や利用間伐の推進を図っていくため、これからも、様々な研修や新技術等の普及を行っていきます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0577-1331-1111

飛騨農林事務所まで

岐阜森林管理署における 無人航空機（ドローン）の活用

ICT (Information & Communication

Technology (情報通信技術) を活用した、いわゆるスマート林業の推進への取り組みは、民有林、国有林を問わず重要となってきました。

特に、無人航空機(以下「ドローン」)は、林業での広範囲での活躍が期待されており、中部森林管理局では平成28年度より各森林管理署へドローンを配備し、各種業務で活用しています。今回は、岐阜森林管理署におけるドローンの活用等について紹介します。

●岐阜署のドローン

岐阜森林管理署に配備されているドローンは、DJI社製Phantom 4 Pro が3台です。これらの機体は、タブレット (iPad) を送信機に装着しており、撮影中の画像はもろろんのこと、高度、緯度経度等の必要情報を、現地でタブレットに表示させて確認、検討等することが可能です。

●岐阜署のドローン活用事例

岐阜森林管理署では、次のようなドローンの活用を行っています。

① 災害時の状況把握

災害発生時には迅速な現地調査が必要ですが、被災現場は路網決壊や山腹崩壊等、二次災害の危険があります。ドローンを活用することにより、離れた場所から、正確に現地の状況把握をすることが可能です。



▲ H30.6月豪雨による治山施設の被災確認 (関市)

② 事業(計画、実行)箇所の現場確認

国有林における請負事業の計画時や、進捗管理においても、ドローンは有効です。架線集材にあたっての支柱の位置確認や、開設中の路網線形のチェックなど、事業実行中での状況確認においても活躍します。



▲架線集材(皆伐)にむけた現地確認 (大洞国有林)

③ ニホンジカ捕獲の見回り

国有林では、守りと攻め(防除と捕獲)によるニホンジカ食害対策に取り組んでいます。その際には、職員による「見回り」が必須となりますが、ドローンを利用した効果的な見回りができないか試行もこなっています。



▲ドローンによる鹿の見回り (七宗国有林)

●これからの林業におけるドローン活用

先に述べたとおり、岐阜森林管理署を含め国有林におけるドローン活用の歴史は、まだ浅いものです。導入当初、署員へのアンケート調査をしたところ、「映像、画像の活用方法が分からない」「飛行申請が面倒」「墜落のリスクがある」といった意見も出たそうです。一方、「動画、画像を、説明資料として使用することにより理解が深まった」といった意見も若手職員から出ました。それ以降、手探りで活用方法を模索しています。ドローンを含むICTが、木材価格低迷が続く厳しい林業界の救世主となってくれるのか、民有林の皆さんともアイデアを出し合って考えていきたいと思えます。

(岐阜森林管理署)

令和元年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール

入賞作品が決定しました!

県では、緑化の意義など普及啓発するため、昭和58年度より県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に「岐阜県緑化運動ポスターコンクール(後援:岐阜県教育委員会、(公社)岐阜県緑化推進委員会)」を実施しています。

令和元年度は、県内86校から379点の応募があり、審査の結果、入賞作品52点が決定しました。

なお、入賞作品については、令和2年3月25日(水)午前10時から令和2年4月22日(水)午後8時まで 岐阜県図書館1階「楽書交流サロン」にて展示します。

■最優秀

小学校・低学年の部



大垣市立北小学校3年
やまかわ くるみ
山川 来望さん

小学校・高学年の部



郡上市立大中小学校5年
ごとう
後藤 ひなたさん

中学校の部



池田町立池田中学校2年
あべ みつな
阿部 光夏さん

高等学校の部



岐阜県立岐阜城北高等学校2年
きむら ともり
木村 友法さん

※最優秀及び優秀作品について、令和2年用国土緑化運動・育樹活動ポスター原画コンクール(主催:(公社)国土緑化推進機構)へ推薦したところ、以下の1名が入賞されました。



国土緑化推進機構理事長賞

池田町立池田中学校2年

あべ みつな

阿部 光夏さん

【恵みの森づくり推進課 伊藤 曜仁】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線 (3034) 恵みの森づくり推進課まで

森林・林業関係イベントカレンダー(4月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
4月15日(水)~ 4月17日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 15日 学科 8:30~17:40 16日 実技 8:30~17:30 17日 補講イ 8:30~11:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:23,650円(本代含む)(振込み) ●定 員:60名(定員になり次第締め切ります。)	15日(学科)・17日(補講イ) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 16日(実技) 県産連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月21日(火)~ 4月24日(金)	フォークリフト 運転技能講習 【受講資格】 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間 1日目 学科 8:30~16:30 学科試験 16:30~17:30 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込:開催日の20日前まで ●受講料:32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員:20名(定員になり次第締め切ります。)	学科 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技 ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月30日(木)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:20~15:00 実技 15:00~16:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員:60名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



私の住む関市には、昭和50年に岐阜県置県百年を記念して開設された、敷地面積100haの岐阜百年公園があります。

広大な園内に里山が広がり、初夏の菖蒲や秋の紅葉などさまざまな植物を観ることが出来ます。子供が小学生の頃、一緒に自転車で公園へ行き、サイクリングやトリム広場の遊具で遊んだものです。

また、園内には岐阜県博物館があり、恐竜の全身骨格標本や岐阜県の自然分野の常設展示とともに特別展や企画展が開催されます。

久々に訪れると、ウォーキングや散策している人が大勢いました。百年公園は平成27年4月から駐車場料金が無料となり、いつでも、立ち寄りやすい公園となっています。

「森林のたより」編集委員 山下 篤志

イベント情報

4月1日発行

連載

- 山の歳時記(176)
- 山のおじゃまむし(345)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(87)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(85)

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政(40)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

4月号
予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1719回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,400	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	11,500	—		
			20~22cm	13,600	—		
			24~28cm	13,000	18,000		
			30cm以上	12,000	20,000		
	6 m	16~18cm	14,600	—			
	2月4日	ひのき	3 m	16~18cm	17,500		—
			4 m	20cm以上	14,500		—
				16~22cm	17,800		—
		4 m	24~28cm	14,800	—		
30cm以上			14,500	—			
6 m			16~18cm	22,000	—		
第1295回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	12,300	—		
		4 m	24~28cm	12,700	—		
			30cm以上	10,600	13,000		
	ひのき	3 m	16~18cm	17,800	—		
		4 m	20~22cm	17,300	—		
			30cm以上	14,000	26,000		
	2月12日	まつ	4 m	24~28cm	9,000	—	
			30cm以上	9,000	10,000		
	ひめこ	4 m	24~28cm	13,000	—		
			30cm以上	14,000	18,000		
5 m		30cm以上	21,000	25,000			
くり	4 m	24cm以上	16,000	—			
第1625回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	12,500	—		
		4 m	24~28cm	12,800	14,000		
			30cm以上元	13,200	18,000		
	ひのき	3 m	16~22cm	17,600	26,000		
			24~28cm	15,000	26,000		
			30cm以上元	18,500	120,000		
		4 m	13cm以下	9,000	—		
			24~28cm	15,500	26,000		
			30cm以上元	18,800	170,000		
	2月13日	まつ	6 m	18~22cm	24,000	—	
4 m			22~28cm梁	7,000	—		
	30cm以上元	9,000	—				

木材市場

【商況】

スギ4m元木良材、中目30cm上は高値推移。40cm上節物は低調。スギ3m並材は16~28cmの需要が旺盛。スギ4m並材は潤沢な在庫を背景に保合。ヒノキ4m元木良材、中目選木に応札旺盛。ヒノキ並材は4m造材が有利。3m並材は需要が少なく弱含み。製紙向けパルプ材は大手工場納材が順調。発電向け未利用材は継続して荷動きが活発。原木在庫は不足傾向。(岐阜)

ヒノキ、スギ共並材が多く横ばいの展開で推移。スギ40cm上枝虫、大節等、欠点材は相変わらず売りづらく応札なし。合板用カラマツ材は不足感が強い。合板用スギ材は需要が減少しており気がかり。ヒメコ材は出材量が乏しいが4m、5m、6m30cm上の応札が活発、マツとともに早急の出材をお勧めします。カラマツ、広葉樹は問い合わせが多く出荷願います。(飛騨)

全般的に並材(16~22cm)横ばいで推移。ヒノキ元木良材2m、3m、4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))は継続して旺盛。ヒノキ並材3m、4m(16~22cm)は、システム販売の安定供給に伴い横ばい。スギは全般的に品薄、4m元木良材は継続して旺盛。スギ並材は、3m、4m(16~28cm)長良川木協・森の合板への供給(システム販売)に伴い横ばい。ヒノキ・スギ6m材は需要減。(東濃)

製品卸売標準価格 (1月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	(2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	(614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
	柱	3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
		3000	120	120	(東濃松) 特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 成 材	柱	3000	105	105	国産5層	60,000	(1,980)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	(2,600)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (1月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米 柾	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	320	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

役物(やくもの)

木材用語一口メモ

節がない、もしくは少ない製材品。製材した製品に節が出そうにない丸太のことでもあります。節の少なさで、小節(こぶし)、上小節(じょうこぶし)、無節に区別されます。節が少ないあるいは節の無い面が多いほど価格が高くなります。色物(いろもの)ともいいます。対語は並材(なみざい)。

(参考)日刊木材新聞社の読み方

